



NPO PTPL “ともいき” 便り No.92

平成 28 年 (2016 年) 1 月 21 日発行

■大寒 1 月 21 日から 2 月 3 日までの節気

「大寒」の節気に入りました。「大きな寒さ」と書くように、一年で一番寒い時期です。大雪が降り、氷が張りつめるころ。東京にも、先日雪が降りました。たちまち交通機関にも影響がでて、テレビでは朝からずっと「雪のニュース」を流していました。通勤通学の方たちは大変だったと思いますが、子どもたちは大喜び。車が通らない道では下校しながら雪合戦をしている子たちもいました。私はというと、雪が雨に変わったので、4歳の孫娘と洗面器にきれいな雪を山盛りいれて部屋に運び、雪だるまや雪のケーキをつくりました。孫はボウルに雪をいれて赤と青の食紅をまぜ、スプーンでさくさくまぜながら、「カキ氷みたい。」と嬉しそうでした。

「大寒」のころは確かに寒いのですが“極まれば兆す”というように、なんとなく春の気配を探したくなります。昔は、この季節に「探梅」といって、早咲きの梅を探して野山を歩き回ったそうです。日脚は確実に伸びて、空は明るさをましていく“春隣”のころ。小さな春と早く出会いたいです。先日、房総半島の鋸南町の「水仙」を見に行ってきました。すっ、すっとして姿勢よく群生している水仙の花。とてもきれいでした。香りもツーンとして、空気が清められているようなそんな印象でした。菜の花も満開で、それこそ春隣の景色でした。おみやげに、水仙の花束とチューリップの球根を4種類とクロッカスの球根の鉢植えを買いました。チューリップは、すべて種類が違うので、4人の孫に一つずつ選んで、我が家の小さい花壇に植えました。孫たちと、「何色の花が咲くかな。」「楽しみだね。」といいあいながら。

さて、2月3日は「節分」です。立春の前日。「節分」は「季節の分かれ目」のことで、立春、立夏、立秋、立冬、それぞれの前日はすべて節分です。ところが、いつの頃からか、立春の前日だけを暦に記すようになりました。旧暦で

暮らしていたころ、元日は、「立春」に一番近い新月の日でした。今も中国などでは春節といって盛大に祝います。ちなみに今年は2月8日です。ですから、立春は一年の始まりを決める大切な日なので、その前日の節分に、厄や災いを祓い、幸せを願うために豆まきをしました。

最近では、豆まきをする家庭が少なくなっていると聞きました。住宅事情だったり、声が近所迷惑になるなど、さまざまな理由があるようです。でも厄を祓い、福や幸せを呼び込む行事です。ぜひ祝ってほしいと思います。

翌日は、立春です。

(ともいき暦で2月3日をクリック。詳しい説明をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>)

みなさま、寒い日が続きます。くれぐれも、お身体ご自愛くださいますように。大寒の節気、健やかに過ごしてください。

すとうささえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

●なぜ、元旦から1月中旬にかけて「春」というのか？

年賀状をはじめ、あちらこちらで「迎春」「新春」「頌春」「賀春」など「春」の字を多く見かけます。何故この時季に春なのでしょう。元日、新年を迎え一週間もしないうちに「寒の入り」となり、一年で一番厳寒の小寒と大寒の節気を迎えるというのに……。

何故、このようなことになったかという、

明治5年(1872年)12月3日が明治6年1月1日となる明治政府の改暦により、この日から旧暦を廃止して、世界共通の新暦、現行カレンダーを使用するようになりました。

それまで千数百年も使用していた旧暦の元旦は立春に一番近い朔(新月)の日ですから(今年の場合は2月8日)、新年はまだ寒い時季ですが、確実に春の兆しを感じられる頃です。2月3日が春の節分、そして2月4日が「立春」、春が立つ日です(一陽来復して春になる日)。

旧暦では新年に「迎春」「新春」といっても季節的に違和感は感じられませんが

した。「新年」と「春」はひとつの「対」になっていたのです。この旧暦の風習が改暦となって、以後も慣例化して新年に春の字が何の疑問もなく、そのまま使用されるようになったのだと思われます。

ただ、今年の正月から小正月にかけては、例年になく春を感じさせる陽気の日が続いたので、なんとなく「春」の字を使いたくなりましたね。

●寒中見舞い

「寒中見舞い」は小寒の「寒の入り」から節分までの間に出します。さらに立春以降、2月末までにだすお手紙を「余寒見舞い」といいます。余寒とは残寒。つまりまだ残る寒さという意味です。

喪中で年賀状をだすことができなかつた方に、「寒中見舞い」を出すと喜ばれるようです。

(「ともいき暦」<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/より>)

●節分と恵方巻き

立春の前日、節分の日はその年の恵方に向かってこの太巻きを無言で食べ、一年の福德を祈る行事ですが、バレンタインやハロウィーンと同じように定着しています。

恵方とは古くは正月の神の来臨する方角、のちに、その歳徳神（としとくじん・その年の福德をつかさどる神。この神の在る方角を明の方（あきのかた）または恵方といいます。）の在る方角を意味するようになりました。

(以前は、よく正月に恵方参りをする人を見かけました。その年の恵方の方角の神社仏閣へお参りに出かけ一年の福德を祈りました。最近は少なくなっているようです。)



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- ご案内が遅れましたが、「ともいき暦 2016年・平成28年度版」を昨年末更新いたしました。

2015年度版をブックマークされている方は2016年度版に差し換え願います。

2016年度版：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

- 当NPOが展開するサイトをぜひともご覧ください。「ジャパネスク」では日本というワンダーな国を、「ともいき暦」では生活の知恵を感じていただけます。

「ジャパネスク」：<http://japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

- ジャパンエフエムネットワークで放送されている『サードプレイス』の『すとうあさえのともいき歴』<全国32局ネット・毎月第3週、4週 水曜日午前5:30から30分(一部地域25分)>。朝早い番組ですが、是非、お聴き下さい。ジャパンエフエムネットワークのサイトです。<http://www.jfn.jp/>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp